

6 林 業

項 目	作 業 内 容																																				
乾シイタケ栽培について	(今月の作業のポイント) ○ホダ場の管理																																				
(1) ホダ場の管理	5月は気温が上昇し、太陽高度が高くなるため、ホダ木に直射日光が当たりやすくなる。直射日光が当たると樹皮部が高温となり、シイタケ菌糸が死滅しホダ化が進まず、シイタケの収量や品質が低下する可能性が高くなる。このため、地形や環境に合わせた伏せ込みを行い、本伏せ中のホダ木には、日光が直接当たらないよう、林内伏せでは遮光ネット等により、裸地伏せでは笠木で日陰を調整する。 ア 林内伏せ スギ林、ヒノキ林、常緑広葉樹林などの林内へ伏せ込んだ場合は、冬の間設置しておいた防風ネットを調整して風通しをよくする。落葉樹林へ伏せ込んだ場合は、ホダ場の標高によっては、5月上旬まで葉が無いかまたは少ないため、この間は笠木や遮光ネットなどでホダ木を覆い、直射日光が当たらないようにする。 イ 裸地伏せ 原木の伐採跡地などに伏せ込んだ場合は、ホダ木に直射日光が当たらないよう、ホダ木の上に被せた伐採時の原木の枝葉による笠木の厚さを調節する。笠木は、傾斜や方位などを勘案し、西日がホダ木の木口等に当たらないよう横方向の張り出しを調整する。 表 1 伏せ込み場とホダ木の組み方 <table><tr><th>伏せ込み場</th><th colspan="3">組み方</th></tr><tr><td>裸地</td><td>鳥居伏せ</td><td colspan="2">よろい伏せ</td></tr><tr><td>マツ・落葉樹の混交林</td><td>よろい伏せ</td><td>百足伏せ</td><td>鳥居伏せ</td></tr><tr><td>落葉樹林</td><td>よろい伏せ</td><td>百足伏せ</td><td>鳥居伏せ</td></tr><tr><td>常緑広葉樹林</td><td>よろい伏せ</td><td colspan="2">百足伏せ</td></tr><tr><td>ヒノキ林</td><td>よろい伏せ</td><td>井桁伏せ</td><td>三角伏せ</td></tr><tr><td>スギ林</td><td>よろい伏せ</td><td>井桁伏せ</td><td>三角伏せ</td></tr><tr><td>竹林</td><td>よろい伏せ</td><td>井桁伏せ</td><td>三角伏せ</td></tr><tr><td>人工庇陰</td><td>よろい伏せ</td><td>井桁伏せ</td><td>三角伏せ</td></tr></table> ウ 散水 散水施設のある伏せ込み場では、降雨がなければ、週2回（1回当たり2時間）程度、ホダ木の裏側までしっとり濡れるくらいの散水を行い、菌糸の伸展・まん延を促進する。	伏せ込み場	組み方			裸地	鳥居伏せ	よろい伏せ		マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ	落葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ	常緑広葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ		ヒノキ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	スギ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	竹林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ	人工庇陰	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ
伏せ込み場	組み方																																				
裸地	鳥居伏せ	よろい伏せ																																			
マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ																																		
落葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ	鳥居伏せ																																		
常緑広葉樹林	よろい伏せ	百足伏せ																																			
ヒノキ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																		
スギ林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																		
竹林	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																		
人工庇陰	よろい伏せ	井桁伏せ	三角伏せ																																		

エ 害菌対策

- ① 直射日光：遮光ネットなどで庇陰を行う。
- ② 生木状ほだ木：天地返し、積み替えを行うなどしてほだ木の水分を早く抜くようにする。
- ③ 多湿環境：通風をよくするため、雑草などを刈払う。

害菌の発生は環境条件によって大きく左右される。そのため、害菌の被害を防ぐには、シイタケ菌糸の繁殖しやすい環境を整えることが重要。

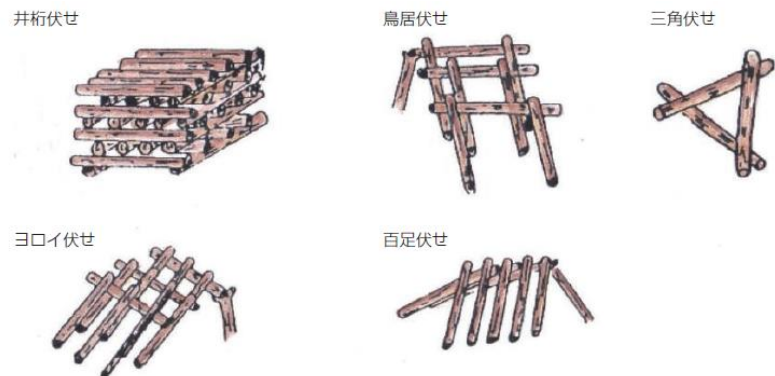


図1 伏せ込みの種類

(一財) 日本きのこセンターHP より引用



林内での伏せ込み



人工庇陰での伏せ込み

写真1 伏せ込みの状況

(一財) 日本きのこセンターHP より引用



ゴムタケ



クロコブタケ



シトネタケ

写真2 主な害菌の発生状況

(一財) 日本きのこセンターHP より引用

(作成 林業研究センター)